



2020年7月30日発行 会報第1020号

今週のプログラム

(2020年7月30日 第1020回例会)

卓話：軌道修正
スピリチュアルマザーに捧ぐ

担当：山田 克子会員

次週のプログラム

(2020年8月6日 第1021回例会)

クラブ奉仕・社会奉仕フォーラム

担当：黒川 彰夫 クラブ奉仕委員長
水島 洋 社会奉仕委員長

第1019回例会 (2020年7月16日の記録)

<会長の時間>

山本 友亮 会長

皆様、こんばんは。本日は今年度 IM2 組のガバナー補佐を務められる大阪淀川 RC の西川正一様をお迎えしております。例会開始前には水本幹事とともにいろいろなお話をさせていただきました。大阪淀川 RC 様の現在までの奉仕活動や 2660 地区事務局との関係や有意義に力を貸していただく術等をご教示いただきました。西川ガバナー補佐の私の一番の印象は明るいお人柄でマスクの上に見える眼がいつも優しく笑っておられる、ということでした。あたたかい方にガバナー補佐をしていただける年度に会長をさせてもらえる幸運を感じました。後ほど、西川ガバナー補佐よりスピーチを頂戴致しますので興味深いお話が伺えると思います。どうぞよろしくお願い致します。

さて、コロナウイルスの感染者数は再び上昇してきており、東京を中心とした関東圏が特に心配されている状況ですが近畿圏も心配な状況になってきております。東京は本日過去最多の 286 名を超える数字になり、大阪は昨日の陽性者人数は 61 名、本日は 66 名ということで大変憂慮される状況であります。内訳としては、やはり夜の街関連の方々や若者が多いらしいですが、大阪市外の方が約 7 割いらっしゃる、また若年層だけでなく中・高齢者にも及んでいるとの事で、取るべき対策も非常に難しい状況になっています。我々も個人個人でできる対策、3密を避ける、極力移動をしないなどの事を今一度しっかりと励行していかねばと考えます。

本日の卓話は西本明文会員のご担当です。いつもは歴史のお話や第2次世界大戦のお話をさせていただき興味深く聞かせていただいておりますが、本日はお医者さまならではの、「感染症の歴史」というタイトルでお話いただけるそうなので、しっかりと拝聴したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

<お客様>2020~2021 年度 RI 第 2660 地区 IM 第 2 組ガバナー補佐 西川 正一様 (大阪淀川 RC)

<出席報告>

高尾 修 SAA

会員数 (内出席免除会員 1 名) 17 名
本日の出席者数 13 名
(内免除会員 0 名)
(名誉会員 0 名)
本日の出席率 81.25%

<ロータリーソング>

全会員

♪日も風も星も♪

<本日のピアノ曲>

近藤 美里さん

1. 涙のトッカータ
2. 我が心のジョージア
3. The Shadow Of Your Smile
4. Beauty And The Beast

<IM 第 2 組 西川 正一ガバナー補佐のご挨拶>

只今ご紹介に預かりました 2020-2021 年度 IM 第 2 組ガバナー補佐、大阪淀川 RC 所属の西川正一でございます。RC には 2003 年秋に入会しまして、約 17 年のロータリー歴です。私が RC に入会しましたきっかけは、ある方から「ロータリークラブは奉仕活動をする組織ですが、まず自身の職業を大切に仕事を全うし、品位を高めながら例会を楽しみ、社会への奉仕活動をする所ですよ」と言われまして、この言葉が私の琴線に触れ、入会を決意致しました。いわゆる職業奉仕の理念です。

IM 第 2 組は 15 クラブありまして、第 2660 地区 80 クラブの中では 500 名前後、1 クラブ平均約 33 名でクラブ人数が少ないクラブの集まりです。

地区事務所には歴史や厚みもあり、データも蓄積されていて、文献も揃っています。また生き字引のようなクラブ出向委員もおられます。人数の少ないクラブの質問にも誠実に答えてくれますので、地区事務所を是非ともご活用ください。

私は例会訪問が大好きです。メイクアップを楽しんでいます。例会が原点です。皆様とロータリーライフを楽しみながら、ガバナー補佐としてこの 1 年間、地区との橋渡し役連絡役として務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。



<幹事報告>

水本 徹 幹事

1. 本日、当 RC ホームページが新年度版に更新されましたので、ご確認ください。
2. 本日例会後、奥のテーブル席にて臨時理事会を開催致します。理事役員はご出席下さい。
3. 来週 23 日は祝日（海の日）休会です。次回例会は 30 日になります。

<SAA報告>

高尾 修 SAA

※スマイルボックス

西本明文会員 卓話に当たっています。

※ロータリー財団

藤田会員 西本会員、卓話 宜しく申し上げます。

黒川会員 コロナウィルス 大変です！！

高尾会員 大阪淀川 RC 西川正一ガバナー補佐様 ようこそ。

※米山記念奨学会

高尾会員 西本会員 卓話よろしく。

柳原会員 お伊勢さん、お参りします。

黒川会員 ガバナー補佐ようこそ！！

※ラオス基金

黒川会員 ラオスに行くのはいつの日か？

西本詩子会員 卓話 上手に出来ますように。

相原会員 コメントなし

※メイプル基金

水島会員 西本会員、卓話よろしく申し上げます。

山本友亮会員 西川ガバナー補佐 本日はありがとうございます。

水本会員 西川ガバナー補佐 ようこそ。

藤田会員 西川ガバナー補佐 ようこそ！！

柳原会員 コロナが増えてきました！

西本明文会員 卓話が無事に終わりますように。

西本詩子会員 我家のフェンスごし、紫陽花がまだまだきれいです。

黒川会員 西本先生 卓話よろしく！！



最近、新型コロナウイルス感染症の事で騒然としていますが、東京都の小池知事は3蜜を避ける様にと呼びかけています。毎日、コロナ感染のニュースが放映されますが、今年3月の流行のピーク時から低下傾向になりました。しかし第2波が見え始め、地方への波及が心配されています。今日はこの感染症について少し考えてみたいと思います。

感染とは微生物や動物などが宿主に寄生して、そこで増殖する事をいい、その結果起こる病気を感染症と名付けられています。又、「伝染病」「疫病」「流行病」とも云われますが、現在は、農業、家畜関連を除いては公的な文書や機関名では感染症と云うことになっています。私達は過去（約40億年前）から繰り返されて来た感染症の大流行の中で生き残った「幸運な先祖」の子孫と云えるわけです。人間が免疫力を高め、防疫体制を強化すれば、微生物も対抗する力を付けて来ました。地球に住む限り感染症は生命誕生から続く生命連鎖の一環であり、14世紀のペストと云い、20世紀初期のスペイン風邪と云い、感染症は人類の歴史に大きく関わって来ましたし、今後も影響を与え続けると考えられます。今日はその1つとして、つい一昔前まで我々を悩ませた、「抗酸菌感染症」についてお話し致します。

この細菌は解かりやすく言えば結核菌が代表です。抗酸菌というのは酸性（リトマス試験紙でピンク色）を呈する細菌です。特徴は、毒力は余り無いが、治療薬に抵抗して死滅せず存続を続け、条件が悪いと増殖を停止しているが、条件が良くなると再び増殖を開始します。一度付着するとなかなか死滅させるのが難しい細菌です。一般的に知られている病気として肺結核があり、この細菌の垂型と言われた種類の病菌に癩菌が有り結核菌とよく似ています。最近では日本を始め先進国には殆ど見られなくなった様で、余り話題にもなりません。江戸～明治時代には処々に散在した様です。その頃より、国はこの感染症の人達を一般社会から排斥して隔離政策を取り、特定の地域に移住させておりました。そのことによる様々な悲劇があったようです。

私が大学の医学生時代に、公衆衛生教室の授業やセミナーの一環として、瀬戸内海の離島と、九州熊本県の特定地域を見学したことを思い出します。そこでこの疾患の新たな認識と生活の実態を知りました。結核菌は人間の肺を冒すが、癩菌は末梢神経を冒す特徴があり四肢の末端、顔面の筋肉をむしばみ進行して行きます。この疾患は結核菌と同様に昭和初期までは有効な治療薬は無かったのですが、昭和20年戦後ヨーロッパから抗結核薬が輸入されてきました。この結核菌に対してあまり効果がないと言って見捨てられた薬が、癩菌の治療に有効と判明しました。抗酸菌薬の開発と共に癩菌の治療薬も出現ということになり、現在、両疾患とも殆ど見られなくなりました。しかしこれからも新型コロナウイルス感染症を含め、襲い来る新しい感染症に打ち勝つ努力を続けなければならないと思われまます。

